



有済

平成12年2月号
京都市立有済小学校

『情報教育』研究発表会を開催

2月8日(火)「情報教育」の研究発表会を開催しました。

21世紀を担う子どもたちにとって、これからのか、いや今の高度情報通信社会に対応できる力を育てるために取り組んできたことを発表するとともに、ご参加いただいた方々の評価をいただき、今後どう進んでいけば良いかを見極めることを願っていました。

当日は、京都市内をはじめ、京都府下や他府県の学校関係者、さらに保護者の皆さんや地域の方々など130名余りの多くの方々の参観を得、これからの学校教育での情報教育に対する関心の高さをあらためて感じました。

情報教育の研究を始めて5年になります。

コンピュータを中心とした情報機器の活用で、子どもたちの学習に対する意欲の向上、自分で課題を解決していく力の向上、表現能力の高まりなど少しづつ子どもたちの変容が感じられ、教職員の大きな励みになりました。



今年度は『心豊かにより良いものを追求していく子』を研究主題に、サブテーマとして総合的な学習(有済校では「なすあり学習」といいます)を通して「豊かな活動を通して、生き生きと学習する子の育成」を掲げ、取組を進めてきました。

今年の発表会も、子どもを前面に押し出した発表形式をとりました。ご覧いただいた方もおりですが、もう一度ご紹介しておきます。

(授業公開)

1年生 生活科『つくろう あそぼう』

1年生では、生活科の中で自分たちでいろいろなおもちゃを作り、「おもちゃひろばをひらこう」という授業を公開しました。

授業には4年生や6年生、保育所の弟や妹、保護者のみなさん、地域の方々も参加していただき、自分たちが作ったおもちゃのを自分の言葉で説明し、みんなで楽しく活動することができました。

おもちゃの説明や遊び方をコンピュータのホームページで紹介するところでは、コンピュータのボタンを押すと、ビデオが流れたり、子どもの声で説明がされたりしていました。



多くの参観者も一緒に参加していただく場面もあり、和やかな授業でした。

5年生 総合的な学習(なすあり学習)『米・食紀行』

5年生は1学期から総合的な学習(なすあり学習)でお米について調べたり、実際に稲を育てたりしてきました。

授業の中では一人一人が学習の課題をもち、その課題に沿って様々な方法で調べたり、結果を新聞やコンピュータのホームページにまとめたりしました。中にはわからないことや疑問に思うことを、電子メールで全国農業協同組合に質問している子どももいました。



また、まとめる段階で参観者にインタビューということもあり、参観者には好評でした。

参観された方々から、子どもたちが各課題に沿って様々なメディアを活用している姿に驚きの声が聞こえてきました。

(研究協議会)

公開授業に続いて、体育館で全体研究協議会をもち、これまでの研究の経過や成果、課題について発表しました。

その中で、今年も子どもたちの発表を取り入れました。

今年は4年生と6年生がこれまでの総合的な学習（なすあり学習）での取組を、情報機器を使って発表してくれました。

(4年生)

4年生はなすあり学習での「お祭り大好き この町大好き」で、祇園祭りから発展して日本三大祭の大坂「天神祭」、東京「神田祭」とを「日本三大祭ネットワーク」を結び、電子メールやテレビ会議システムを使って大阪、東京のそれぞれの学校と交流してきたことや、また、図工の作品を通しての他校との交流の様子などを発表してくれました。

また、自分たちで作った有済校（校区も含めて）ビデオレターの紹介もしてくれました。



(6年生)

6年生はなすあり学習で取り組んだ「水にふれて」という学習について発表してくれました。

発表はコンピュータを使ったプレゼンテーションという発表の方法で、コンピュータの機能を使い、写真やビデオなどを写しながら発表していました。

取組の中身だけでなく、学習しての自分の考えも発表することができました。

実に堂々とした発表振りで、参観者の高い評価を得ました。



玄関のタイルがきれいになりました

校舎の西入口（玄関）に入ったところのタイルが老朽化し、一部分はがれてくれました。

そこで、子どもたちが考えデザインしたものができるかということで、取り組んできました。子どもたちは「有済校の四季」を考え、なかよしグループでそれぞれ4種類（春夏秋冬）の絵で有済校を表現しました。

それをモザイクタイルで貼り合わせていただき、すばらしいものができあがりました。

少し暗かった玄関も大変明るく感じられ、来校された方々にも好評です。

ご来校の折には、ぜひご覧ください。

